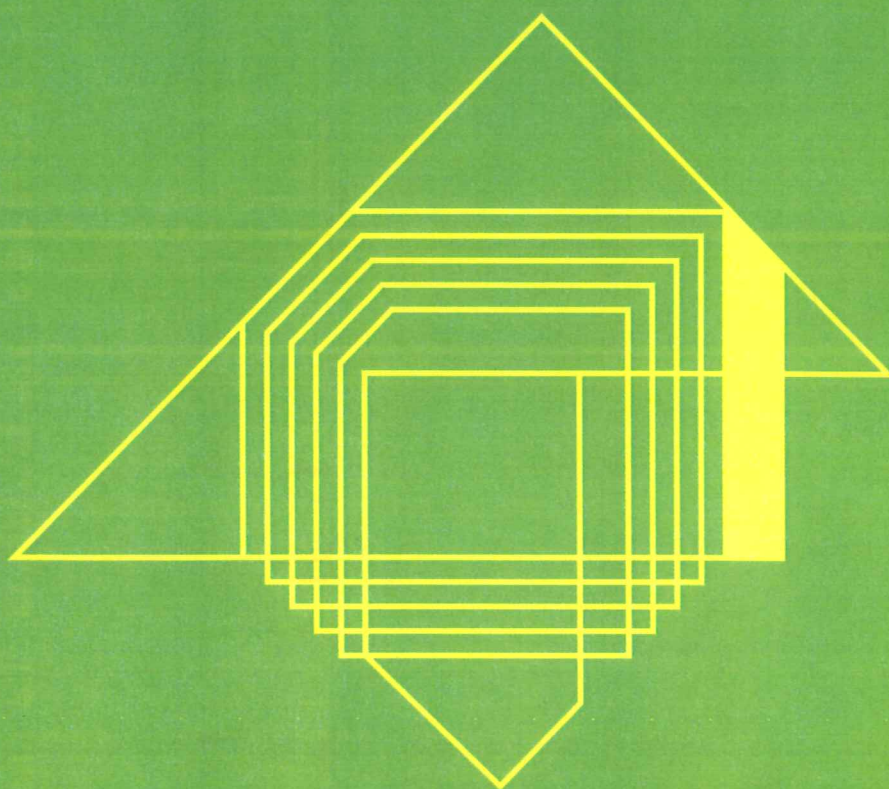


サニエ-シート[®]

エチレン酢酸ビニル樹脂系シート (EVA系シート)

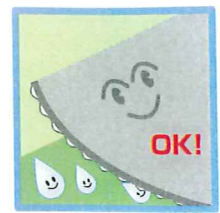


長谷川化学工業株式会社

サンエーシート防水のポイント

工期短縮!! 湿潤面でも施工ができる!!

躯体コンクリートの乾燥を待たずに施工できる。
雨上がり直後でも施工ができる。
水張り試験も通常翌日可能。



地下防水が得意!!

躯体とシート間の水密性が非常に高いため水が横走りしない。
先やり工法においても後打ち躯体との水密性が非常に優れている。
シートの伸び率が500%以上あるので下地の凹凸にも追従できる。
地下構造物の内部からも防水ができる。



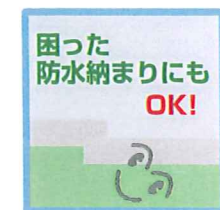
浴室・シャワー室・厨房などの室内防水に適している!!

躯体とシート間の水密性が非常に高く、押え金物を使用しないので立上り高さを気にしない。
立上りシート上にトンボ・ラス網を必要としないので、保護モルタル層を薄く軽く設計できる。
臭いがほとんどないので、改修にも向いている。



防水納まりに困った時の必需品!!

防水立上りが取れない時、低い時に活躍できる（納まりは事前打ち合わせ必要）。
タイルや長尺仕上げ時に防水保護層を薄くできる。



タイル仕上に適している!!

押えコンクリートを打設する必要がなく、タイル下地としての保護モルタルは平場10mm～30mm、立上り10mm程度でOK。
防水層と保護モルタルの接着せん断強度が0.6N/mm²以上あるので、斜壁などでのタイル施工ができる。



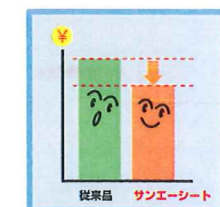
耐久性に非常に優れている!!

30年近く屋外暴露しても、シートの伸び及び引張り強度の保持率は非常に高い。
無機材料であるセメントを接着剤として使用しているため、30年近く経過しても下地との密着性はほとんど変わらない。



トータルコスト削減!!

副資材が少ない（押え金物、端末シーリング材、トンボ・ラス網等不要）。
躯体乾燥を待たないため工期短縮。



安心・安全な防水施工!!

使用材料に環境負荷物質を含まない。
臭いがほとんどなく、近隣や作業者の環境・健康に優しい。
水道施設でも使用可能。（JWWA Z 110 試験済）

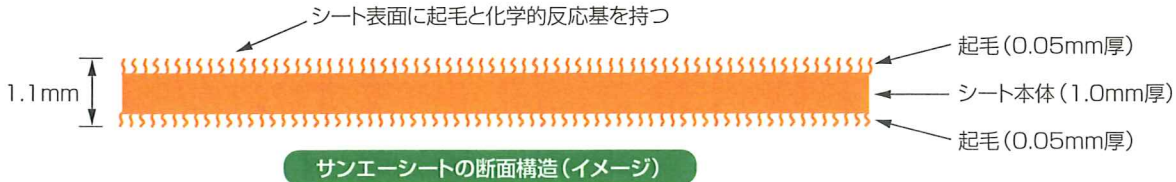


サンエーシート防水の概要

サンエーシートとは

サンエーシートは、日本工業規格 JIS A 6008 「合成高分子系ルーフィングシート」均質シート・エチレン酢酸ビニル樹脂系(均質エチレン酢ビ)に規定された防水シートで、EVA樹脂をシート状に成形した後表面に起毛及び化学的反応基が付与されており、セメントや接着剤などと強固に結合します。

耐候性、耐薬品性、耐寒性に優れており、可塑剤などの揮散する物質を含まないため、経年変化で硬くなったり、脆くなったり、縮んだりすることはほとんどありません。また、食品衛生上無害であり、「水道施設の技術的基準を定める省令」に基づく基準に適合致します。



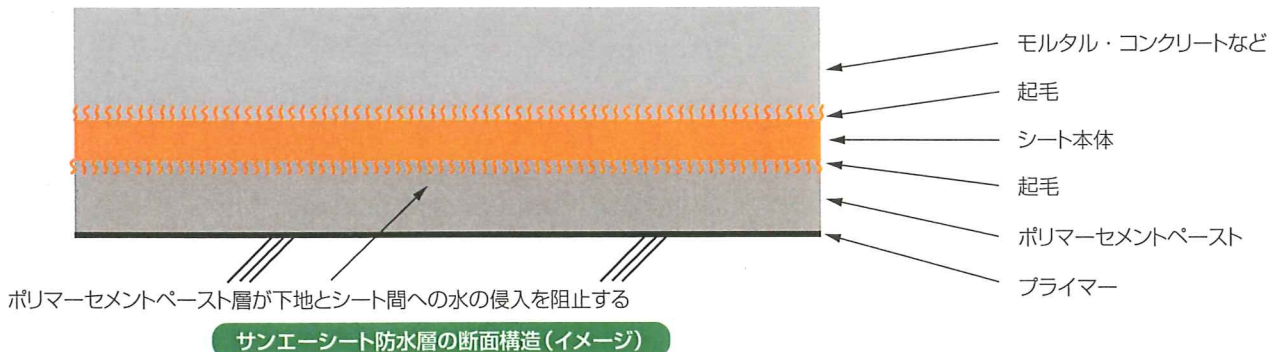
サンエーシートの断面構造(イメージ)

注) 2014年6月1日よりシート厚表記を、シート本体の1mmから、起毛層を含めた1.1mm厚に変更しました。

サンエーシート防水層

サンエーシート防水層は、シート表面の起毛の間にセメントや接着剤などが入り込み物理的に起毛を掴んで固まり、さらに化学的にも結合するので水密性の高い防水層が確保できます。

水密性の高いサンエーシート防水層は、「水のヨコ走り」がないので、万が一漏水が起こっても漏水箇所を容易に特定できます。



サンエーシート防水層の断面構造(イメージ)

サンエーシート物性データ

JIS JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD
日本工業規格 適合性認証書

長谷川化学工業 株式会社 殿

工業標準化法第19条第1項に基づき認証マークの表示について下記のとおり認めます。

認証番号: TC 03 08 263

認証取得中の氏名又は名称及び住所:
 長谷川化学工業 株式会社
 〒千葉県八千代市上野野1354番地5

認証に係る日本工業規格の番号及び名称:
 JIS A 6008-2006 合成高分子系ルーフィングシート

認証の区分: 合成高分子系ルーフィングシート

認証に係る工場又は事業場の品質管理体制の番号:
 番号: 長谷川化学工業 株式会社
 所在地: 〒千葉県八千代市上野野1354番地5

「認証に係る工業製品の名称」「認証の範囲」「認証マークの表示」「付記事項の表示」及び「表示の方法」については別添付による。

認証日: 2008年11月4日
 有効期限: 2011年11月3日

財団法人 建材試験センター
 Japan Testing Center for Construction Materials
 理事長 田中正躬

試験項目		試験結果		JIS 規格	
引張性能	引張強さ	N/cm	1800	1000以上	
	伸び率	%	600	450以上	
引裂性能	引裂強さ	N/cm	550	400以上	
	温度依存性	試験温度 60℃ 引張性能	N/cm	475	150以上
		試験温度 -20℃ 伸び率	%	245	200以上
加熱伸縮性状		伸縮量	mm		
		伸び	0.0	2以下	
		縮み	4.3	6以下	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比%	加熱処理	94.6	80以上	
		促進暴露処理	98.7	80以上	
		アルカリ処理	97.2	80以上	
	伸び率比%	加熱処理	101.1	70以上	
		促進暴露処理	95.1	70以上	
		アルカリ処理	96.6	80以上	
伸び時の劣化性状		加熱処理	ひび割れ無し	いずれの試験片にもひび割れがあってはならない	
	促進暴露処理	ひび割れ無し			
	オゾン処理	ひび割れ無し			
接合性状		無処理	異常無し	基準線からのずれ及びはく離の長さが5mm以下でかつ有害な膨れなど異常箇所があってはならない	
	加熱処理	異常無し			
	アルカリ処理	異常無し			

試験方法 JIS A 6008-2006 に準拠
 試験結果はこのロットの測定値であり、保証値ではありません。

サンエーシート防水施工手順

《屋上など》

1 ケレン・清掃

2 プライマー塗布(立上り部・役物回り)



プライマー配合比



サンエープライマー 水

重量比	1	2
-----	---	---

3 役物回り／増張り施工



出入隅角

ドレン

貫通管

クラック部増張り

4 立上り部施工



立上り・役物回り用
ポリマーセメントペースト配合比



サンエープライマー 水 セメント

重量比	1	4	14
配合例	1.8kg	7.1kg	25kg

5 プライマー塗布(平場部)



平場用
ポリマーセメントペースト配合比



サンエープライマー 水 セメント

重量比	1	4	13
配合例	1.9kg	7.7kg	25kg

6 平場部施工

断熱工法

断熱材敷込み



●断熱材は、JIS A 9511A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b

7 保護・仕上げ



① 軽舗装工法の場合

ポリマーセメントモルタル塗布



② 保護工法・断熱保護工法の場合

保護層打設 (別途工事)

*高反射率塗料仕上げの場合は保護層・仕上げ層に塗布する。